

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称：前立腺癌に対する寡分割照射の初期治療成績

研究の目的

前立腺癌に対する標準治療のひとつに放射線治療があります。従来は1回2Gyで38-40回、計76-80Gyの通常均等分割法が広く行われていましたが、治療機器の高精度化に伴い、1回3Gy以上で治療回数を減らす寡分割法が普及しています。寡分割法は海外や国内の先行施設から報告では、通常均等分割法と比較して有効性や有害事象に差がないと報告されており、当院でも治療機器更新に伴い、2024年5月より、1回3Gy、60Gy/20回の寡分割法を開始しました。本研究の目的は、当院における前立腺癌に対する寡分割法の有効性と安全性を明らかにすることです。

研究実施期間：実施許可日～ 2027年 3月 31日

対象となる方：2024年5月1日～2026年5月1日までに附属病院放射線治療科で、前立腺癌に対して合計20回の寡分割法で放射線治療を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、診断名、ステージ、放射線治療を受けた期間、放射線治療の内容、画像検査結果、血液検査結果、転帰情報について標記研究のために利用します。具体的には、全生存率および生化学的非再発率を算出し、統計解析の手法でこれらに影響する因子を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

放射線治療科・畑山佳臣 0172-39-5103/yhatayama@hirosaki-u.ac.jp

